

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

7 英語（学校選択問題）

(1) 正答率

問題	配点	正答率		一部正答率		誤答率		無答率		通過率 率 = $\frac{\text{得点計}}{\text{人数} \times \text{配点}}$ (%)	
		数	(%)	数	(%)	数	(%)	数	(%)		
1	問題 1	2	358	95.0	0	0.0	19	5.0	0	0.0	95.0
	問題 2	2	371	98.4	0	0.0	6	1.6	0	0.0	98.4
	問題 3	2	363	96.3	0	0.0	14	3.7	0	0.0	96.3
	問題 4	2	355	94.2	0	0.0	22	5.8	0	0.0	94.2
	問題 5	2	355	94.2	0	0.0	21	5.6	1	0.3	94.2
	問題 6 (1)	3	361	95.8	0	0.0	16	4.2	0	0.0	95.8
	問題 6 (2)	3	367	97.3	2	0.5	8	2.1	0	0.0	97.7
	問題 6 (3)	3	319	84.6	15	4.0	43	11.4	0	0.0	86.9
	問題 7 (1)	3	368	97.6	0	0.0	9	2.4	0	0.0	97.6
	問題 7 (2)	3	298	79.0	0	0.0	79	21.0	0	0.0	79.0
問題 7 (3)	3	360	95.5	0	0.0	16	4.2	1	0.3	95.5	
2	問 1	3	256	67.9	0	0.0	110	29.2	11	2.9	67.9
	問 2	4	340	90.2	0	0.0	35	9.3	2	0.5	90.2
	問 3	4	324	85.9	9	2.4	44	11.7	0	0.0	87.7
	問 4	3	343	91.0	0	0.0	33	8.8	1	0.3	91.0
	問 5	4	207	54.9	93	24.7	73	19.4	4	1.1	71.8
	問 6	4	312	82.8	41	10.9	20	5.3	4	1.1	89.9
	問 7	4	299	79.3	0	0.0	76	20.2	2	0.5	79.3
	問 8	4	128	34.0	155	41.1	66	17.5	28	7.4	58.7
3	問 1 A	3	296	78.5	0	0.0	76	20.2	5	1.3	78.5
	問 1 B	3	62	16.4	0	0.0	263	69.8	52	13.8	16.4
	問 2	4	137	36.3	6	1.6	225	59.7	9	2.4	37.5
	問 3	3	283	75.1	3	0.8	69	18.3	22	5.8	75.6
	問 4 ①	3	169	44.8	0	0.0	205	54.4	3	0.8	44.8
	問 4 ②	3	184	48.8	0	0.0	189	50.1	4	1.1	48.8
	問 4 ③	3	185	49.1	0	0.0	188	49.9	4	1.1	49.1
	問 5	4	61	16.2	162	43.0	70	18.6	84	22.3	39.7
	問 6 イ	3	266	70.6	0	0.0	94	24.9	17	4.5	70.6
問 6 オ	3	280	74.3	0	0.0	79	20.9	18	4.7	74.3	
4		10	29	7.7	275	72.9	69	18.3	4	1.1	46.1

(小数点以下第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

① 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。

問題 1～3 外出の予定や将来の夢、道案内など、日常的な場面の会話を聞いて、絵や図のなかから、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

問題 4、5 友達の誕生日会の一場面や、宿題についての親子の会話の一場面といった、「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

問題 6 Emi は来月オーストラリアでホームステイをすることになり、ホームステイの期間やオーストラリアの学校でどんなことを話すのかについて、Mr. Jones と会話をしている。その会話を聞き取り、内容について日本語で答える。

問題 7 中学生の Yuka が、エネルギー問題や食糧問題などの世界の問題についてのスピーチを英語でおこなっている。そのスピーチを聞き取り、内容について英語の質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

2 Akiko と Masao、ALT の Mr. Miller が、Akiko がおこなった将来の夢についての英語でのスピーチをきっかけに、Akiko と Masao の将来の夢についての会話をしている。Akiko は理科の先生になりたいと考えており、Masao は「おばが入院している病院にお見舞いに行った際、小さな女の子に自分の描いた絵をあげたら喜んでくれた」という病院での経験から、子供たちの本のための絵を描きたいと考えている。この3人の会話文を読んで、あらすじや要点を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する

3 高校1年生の Keita が Light Pollution (光害) について英語でスピーチをおこなった。彼が光害に興味をもったきっかけは、長野へ旅行に行ったときに暗闇のなか天の川を見たことだった。都会では夜空が明るくて星がほとんど見えないため、光害について調べることにした。まず、光害による影響を挙げ、動物や人間、また地球温暖化に対する影響等について述べた。次に光害に対する取り組みとして、群馬の高校生による活動や光害削減の対策案を紹介した。そして皆に必要なときだけ電気をつけるよう協力を呼びかけた。その英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取り、内容についての質問に答える。

4 Some people say that students in Japan should study abroad when they are young. What do you think about this idea? という英文に対して、賛成か反対か自分の立場を明らかにして、その理由がわかるように、記入上の注意に従って 40 語以上 50 語程度の英語で書く。

(3) 所見・解説

1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。

問題1 Andy が次の日曜日に行く予定の場所を選ぶ問題である。Then を用いて雨の降る心配があるなら博物館へ行くと言っているので、正答はイとなる。

問題2 Takeshi の将来の夢を選ぶ問題である。幼い頃はサッカー選手になりたかったが、今は消防士になりたいと言っているので、正答はアとなる。

問題3 「さくら駅」の行き方を聞いて、さくら駅の場所を選ぶ問題である。説明をもとにウの Chuo Station で Yellow Line に乗り換え、そこから二駅たどると目的地の Sakura Station となり、正答はイとなる。誤答としてはウが最も多かった。これは乗り換える駅のヒントとなる fifth と、目的地とする駅のヒントとなる second station が正確に聞き取れなかったためと考えられる。

問題4 Judy の誕生日会から Naoko が帰るときに言う適切な言葉を選ぶ問題で、正答はア“I had a very good time today.”となる。

問題5 宿題を終えずにテレビゲームをしている息子に、母親が宿題を促す状況なので、正答はウ“I don’t think you should play that now.”となる。これらの問題では、会話中の場面や状況をよく整理して情報を正確に理解する力が求められる。場面に応じて、適切に対応できる力を身に付けさせたい。

問題6 まとまった長さの会話を聞き取り、内容について日本語で書く問題である。

(1) Emi の発言“For fifteen days.”から正答は 15 日間となる。

(2) Emi の発言“On the weekend, I’ll go to a zoo.”から正答は動物園となる。

(3) Mr. Jones の提案したことが問われているので、Mr. Jones の発言“Then, how about talking about some traditional events in Japan?”から正答は(日本の)伝統文化となる。誤答には、traditional events が正確に聞き取れておらず、会話文最後にある Setubun or Hinamatsuri の語句から解答を導いたと思われるものが多くみられた。会話の概要や会話中の大切な情報を正確に聞き取る力が求められる。

問題7 まとまった長さのスピーチを聞き取り、内容についての英語の質問に答える問題である。

(1) Yuka のスピーチの“Last month I joined a volunteer group to clean our town.”から正答はウ“Last month.”となる。

(2) “But we also know that people in Japan buy too much food to eat.”という一文から正答はエ“People buy too much food to eat.”となる。

(3) “I’ve already started to use my own bag when I go shopping.”という一文に注目すると、正答はア“To use her own bag.”となる。まとまりのある英語を聞いて、その概要や情報を正確に聞き取る力が必要である。

「聞くこと」の指導においては、問題1のようなやや短めの英語を聞くことから慣れさせ、継続的に指導をすることが重要である。さらに、問題6や問題7のようなまとまりのある英語については、概要や要

点を適切に把握するために、情報を正確にメモするなどの工夫をして、その概要や大切な情報を正確に聞き取る力を身に付けさせたい。

2 会話文を読んで、あらすじや要点を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。

問1 本文の空欄にあてはまる適切な語を書く問題である。I was nervous と A の前後の in と of から考えて、正答は front となる。「クラスメートの前で英語を話さなくてはならなかった」という意味になるように、連語 in front of を使えるかどうかポイントとなる。英文の流れに合わせて適切な連語を使うようにしたい。

問2 本文中の空欄にあてはまる適切な英文を選択肢から選ぶ問題である。正答は Akiko の発言からウ“I want to be a science teacher.”となるが、もっとも多い誤答はエで、Akiko の夢や将来について話している文章から判断できなかったものと考えられる。

問3 単語を正しい順序に並び替えて英文を完成させる問題である。正答は your dream will come true. である。I hope に続く従属節の主語のあと、come true という動詞と形容詞を用いた連語を書くことで英文を完成させることができる。

問4 英文の空欄にあてはまる適切な1語を、本文中に使われている語の形を変えて書く問題である。「その女の子は～し始めた」という意味になるように書く。不定詞の to に続くので動詞の原形である cry が正答となる。

問5 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。質問が“What did Masao decide to do for the little girl when he started to leave the waiting room at the hospital?”なので、動詞 decide に注目すれば、Masao の発言のなかに “So I decided to give her all the pictures.”をみつけることができる。正答は He decided to give her all the pictures. であるが、誤答には、問題の意図はとらえていたが、語法、綴り、文の構造など複数の誤りのあるもの、問題に正対していないものなどがあつた。Masao の発言のなかから正答のヒントとなるフレーズをみつけられなかったものと考えられる。英語の質問文が何をたずねているのか適切に理解する力と、適切な表現で英語を書く力を身に付けさせたい。

問6 本文の内容に関する日本語の質問に日本語で答える問題である。正答は「子供たちの本のための絵を描くこと」であつたが、この問題は、Masao の発言の “Actually, I want to draw pictures for children’s books in the future.”を読み取ることで解答できる。誤答のなかには、動物の絵を描くなどといったものが多くみられた。これは、正答のヒントとなる文をみつけることはできていたが、その文の解釈が誤っていたため、と考えられる。本文の要旨を素早く読み取る力を身に付けさせたい。

問7 本文の内容と合う英文を選択肢から選ぶ問題である。Masao の発言 “But when I see her next time, I’ll tell her what happened at the hospital.”と、そのあとの Akiko の発言 “I think she’ll be glad to hear that you’ve found your dream.”から、正答はエ “Masao will tell his aunt about his dream when he sees her next time.”となる。最も多い誤答はアで、冒頭の Akiko と Mr. Miller の speech についての会話において、Akiko を手助けしていると取り違えて答えを選んでしまったものと考えられる。

問8 会話の流れに合うように、6語以上10語以内で1文の英文を書く問題である。その後の英文が and she showed them to me. であるから、I always carry に続くように、「あなたが病院で私にくれた絵」となる the pictures you gave me at the hospital を書く。carry の後には名詞がくるため、関係代名詞を使った英文を内容に合わせて解答できるかがポイントとなる。

以上の解説を参考に、文法事項については言語活動と効果的に関連付けて定着を図り、まとまりをもって理解する習慣を身に付けさせたい。

3 まとまった長さの英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る力をみようとしたものである。

問1 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な語を英語で答える問題である。A については、スピーチの導入部分の「私は時々夜空を見上げるが、ここでは星はほんのわずかししか見えない」となる表現 only a few を使う。「少し～ある」という表現には few と little があるが、stars が数えられる名詞であることから A には few はあてはまるが、誤答には little と答えたものが最も多かつた。これは可算名詞と不可算名詞の混同があつたためと考えられる。few と little の使い分けをしっかりと身に付けさせたい。次に B について、[主語+動詞+目的語+補語]のうち、主語+動詞+目的語+形容詞の文構造が問われている。光害の動物への影響について述べられている部分が「人工光が、ウミガ

メが浜に上がるのを恐れさせ」となるように英文を完成させる。空欄のあとに of が続くことを考えれば、正答は afraid となる。単語だけでなく連語としてのはたらきをしっかり身に付けさせたい。

問2 自然な流れの英文になるように、適切な語順を答える問題である。「なぜ星を見るのが難しくなっているのか」となる、主語＋動詞＋what などが始まる節の表現 why it is becoming difficult to see the stars. が正答となる。誤答には why を先頭に書いてあるものの、その後の語順が why is it のように逆になっているものもあった。what などが始まる節のなかの語順が定着していなかったものと考えられる。

問3 代名詞 it が指す内容を、本文中から抜き出して答える問題である。「あなたは暗い夜空を失うことは大きな問題ではないと思うかもしれないが、暗い夜空を失うことは本当に大きな問題なのだ」の意味が読み取れれば、正答はカンマの前の that で始まる節の主語である losing a dark night sky となる。代名詞が指す内容を正確に理解しながら読むことが大切である。

問4 英文の流れに合わせて、本文中の3つの空欄を補う文として適切なものを、それぞれ記号で答える問題である。①の前後をみると、「何世紀もの間、人類は星を観察することで天文学のような科学を発達させてきた」、「しかしながら、もし夜間に人工光が多くなりすぎれば、彼らの仕事はひどく混乱する」とある。their work に注目すれば、芸術の分野について書かれているイ“Writers, singers, and artists have also been influenced by the beautiful stars in the night sky”が正答となる。②では、前後の文「我々は光害の影響について知った」、「日本のあるところでは、暗い夜空を取り戻そうとさまざまな取り組みをしている」から、現状に対してどう取り組むかが書かれたア“**B**ut the more important thing is to think about how to stop it.”が正答となる。③では「多くの街灯を必要としないので、自動運転車（の開発）が助けとなるかもしれないと彼らは言う」と続くので、代名詞 They と street lights から、エ“**S**cientists say that light pollution can be reduced if street lights’ covers have a better design.”が正答となる。前後の文脈を読み取ることや、段落の内容を把握した上で必要な情報を探することが大切である。

問5 本文の内容に関する日本語の質問に日本語で答える問題である。高校生たちの取り組むキャンペーンにおいてどのようなことをするかが具体的に問われていることから、“**I**n this campaign, the students ask people in their city to turn off the lights at home on one August night.”の「彼らの市の人々に、8月のある夜に家の明かりを消すように頼むこと」などが正答となる。本文の大切な部分を正確に読み取る力を伸ばしたい。

問6 本文の内容に合っている英文を選ぶ問題である。正答については“**I**t also says that about eighty percent of people in North America can’t see it, and that the number is about seventy percent for Japan.”からイを、光害が地球温暖化に与える影響について述べられている段落に注目すればオを選ぶことができる。キーワードや指示語が指す内容を押さえながら読み、全体の内容を理解することを心がけたい。

まとまった長さの様々なテーマや分野の英文を読み、内容や書き手の伝えようとする内容を正確に読み取る練習を行うことが大切である。

4 与えられた条件に従い、まとまった内容を英語で適切に表現できるかをみようとしたものである。

英文 Some people say that students in Japan should study abroad when they are young. What do you think about this idea? に対して、[条件] 賛成か反対か自分の立場を明らかにして、その理由が伝わるように40語以上50語程度の英文で書くように示されている。

解答の仕方として、I agree. や I don’t think so. のように、自分の立場を明らかにしたうえで、[記入上の注意] に留意して、その理由が伝わるように書くことが求められる。

誤りとして目立ったのは、前置詞や副詞の用法に関するものである。例えば、agree に続く前置詞の誤りや、不要な前置詞を入れるなどの誤りが挙げられる。副詞の用法では、abroad を名詞のように扱うなど多くの誤りがみられた。そのほか、文章自体に一貫性がない記述やまとまりのない文、無用な繰り返し等があるというものがみられた。

文と文のつながりに注意して文章を書く力を十分定着させるとともに、内容に一貫性のある文章を書けているか、文と文とのつながりなどに注意した文章になっているかということに注意を払って、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わる文章を書く力を充実させたい。